

平成 30 年度高校生交換留学促進事業

留学生現地レポート

I FOUND THE DIFFERENCE!

Hokkaido/Alberta student exchange program **2018-2019**



平成 30 年 12 月 6 日発行
北海道教育庁学校教育局高校教育課

現地リポーター（留学参加者）

〈滞在期間 平成 30 年 11 月 6 日～平成 31 年 1 月 5 日〉

- 1 岩見沢西高校 2 年生（Paul Kane HS in St.Albert）
★ カナダの食文化
- 2 札幌国際情報高校 2 年生（Bishop Carroll HS in Calgary）
★ 学校のしくみ、宗教のこと、多文化社会のカナダ、美しい朝日
- 3 千歳高校 2 年生（Memorial Composite HS in Stony Plain）
★ カナダのレストラン
- 4 苫小牧東高校 2 年生（Harry Ainlay HS in Edmonton）
★ カナダの学校の水飲み場
- 5 登別明日中等教育学校 1 年生（Paul Kane HS in St.Albert）
★ エドモントンの建物
- 6 浦河高校 2 年生（Harry Ainlay HS in Edmonton）
★ 学校生活について
- 7 函館中部高校 1 年生（Jasper Place HS in Edmonton）
★ 食文化、カナダの景色
- 8 旭川北高校 2 年生（Harry Ainlay HS in Edmonton）
★ スキー場のリフトについていたバー、バスに張り巡らされている紐
- 9 旭川北高校 2 年生（Christ the King HS in Leduc）
★ カナダと日本の違いについて
- 10 鹿追高校 2 年生（Paul Kane HS in St.Albert）
★ ウェストエドモントンモール



1 岩見沢西高校2年生

★ カナダの食文化

カナダの朝食はトーストやシリアル、パンケーキが多いです。パンケーキには必ずメープルシロップをかけて食べます。昼食は日本のようにしっかり食べるという感じではなく、サンドウィッチやお菓子など軽食です。学校にはランチを買うことができるところがあり、お菓子や飲み物の自動販売機もあります。また、学校には電子レンジがあり生徒が自由に使うことができます。温かいものが食べられるのはとてもいいなと思いました。

授業中も自由に飲食ができ、中には授業中に食べ物を買って行く人もいてびっくりしました。Foodの授業では毎日色々な料理を作るのでとても楽しいです！！

ディナーは朝食やランチと違って豪華です。ですが、日本のようにみんなが揃って食べる前にいただきますやごちそうさまと言う習慣がないので、なんとなくまとまりがない気がしました。また、まだ食べられるものを普通に捨てていたりしていて、もったいないと感じることが多くあります。

カナダの人達はよくとても大きいターキーを食べます。おめでたい時や人がたくさん集まった時にはターキーを焼いてみんなで食べます。とてもおいしいです！

カナダにも日本食レストランがあり学校の友達に連れてってもらいました！



2 札幌国際情報高校 2 年生

カナダで驚いたことは沢山あります。

その中でも特にびっくりしたものをいくつか紹介したいと思います。

★ 学校のしくみ

わたしの学校 BishopCarroll はアルバータ州でもかなり特殊で、システムは大学のように自分でしたい勉強をしたい場所のできるのです。3年間で終わらせなければならない学習の量が決められており、私のパートナーはほとんどの教科の卒業テストを終えており、来年はアルバイトをする予定だそうです。

とても合理的なシステムだと思いましたがそれと同時に、計画性や自立性、責任感がより必要だと感じました。日本とはだいぶ違いますが、これはこれで素晴らしいと思いました。

★ 宗教のこと

この高校はカトリックなので、毎朝 HR の最後に右手で十字架をつくって祈りました。今までしたことがなかったので貴重な体験でした。画像は学校の Chapel です。

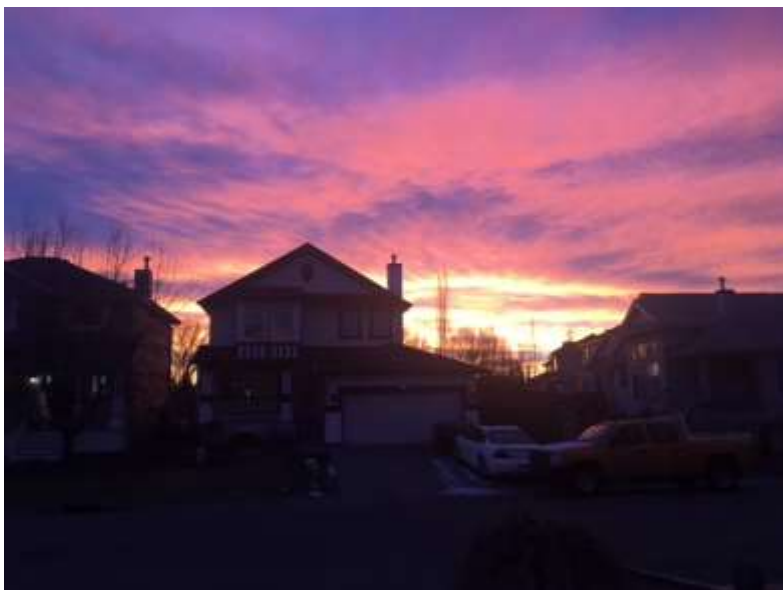


★ 多文化社会のカナダ

学校でも駅でもバスでも様々な人種の人がありました。スカーフを巻いた人や、フィリピン、スペイン、アフリカ出身の人など。わたしの学校の友達の半分はフィリピン

出身で、小さい頃や数年前にカナダに移住してきたと言っていました。そのうちの 1 人の友達が、カナダは多文化だから日本のように定まった文化、伝統的な文化がないと言っていました。そして私とその多文化性がいいところなんじゃない？と言うと、うん、それはそうだねと納得していました。日本に無いものがカナダにはあり、カナダに無いものが日本にはあり、とても面白いなと思いました。

★ 美しい朝日



カルガリーの日の出は 8 時前頃で、毎日本当に綺麗でした。西の空はピンクと紫、東の空はオレンジと青のグラデーションだったり、日によって違いますが本当に美しかったです。また山や坂が全くないので、ずーっと空が広がっていて、ただバスに乗っているだけでも楽しかったです。

3 千歳高校2年生

★ カナダのレストラン

私がカナダで感じたことは「ご飯にはあまり時間をかけずに作る」という印象でした。主に夜ご飯を外食やデリバリー、テイクアウトすることが多かったです。

食べ物はとてもおいしかったのですが、私にとっては量が多すぎて食べきれなかつたりすることがたびたびありました。ですが、私が行った全ての店で持ち帰りが可能で、とても助かりました。日本でもこの方法をもっと取り入れるべきだと思いました。



レストランでの違いもありました。例えば、店員さんがとてもフレンドリーに声をかけることや、自分たちで店員さんを呼ぶのではなく、店員さんが来るのを待つスタイルだったりすること、会計のときはテーブルですることでした。店員さんもみんな楽しそうに仕事をしていて素敵だなと思いました。



4 苫小牧東高校2年生

★ カナダの学校の水飲み場



私の通う Harry Ainlay School には、至る所に水飲み場が設置されています。左右か中央のスイッチを押すと水が出てくる、ごく一般的な水飲み場ですが、少し違うところがあります。

後ろにボトルのマークの様なものがあり、その場所にボトルを置くとセンサーが感知して水が出てきます。そして丁度いいところで水が止まってくれます。

学校の友達に聞いてみると、みんなペットボトルは買わずに、家から水筒などを持ってきて水を入れるのが普通なんだそうです

みんなが水筒を持って来れば水を買わなくていいし、何回でも水を汲み直せるので良いと思いました。

また、このようなタイプの水飲み場は日本の学校ではあまり見られないですが、あればとても喜ばれると思います。



5 登別明日中等教育学校 1 年生

★エドモントンの建物

エドモントンのショッピングモールは、ほとんどが1階建てで2階がありません。

なぜかという、カナダは面積が日本の約26.4倍あり土地が余っているからです。

そのため建物を高く造る必要がありません。

北米最大かつ世界で10番目の規模を持つウェスト・エドモントン・モールでさえも3階建てでした。



また、ほとんどの家には地下がありました。パートナーになぜかと聞くと、理由は2つありました。

1つ目は、家を建てる際に基礎を地面に直接作ってしまうと、寒さの影響で基礎部分が膨張して壊れてしまい、家が崩壊してしまうそうです。

2つ目は、竜巻やトルネードが起こりやすいため避難場所として地下を用意しているそうです。

日本の家には地下がないのでとても驚きました。

6 浦河高校2年生

★ 学校生活について

私はカナダで日々、日本との違いに驚きます。特に学校生活で大きな違いを感じるがあります。なので、学校での違いについていくつか紹介します。

【建物】

建物は一階建てでとても広く、私の学校には出入り口が本当にたくさんあります。

生徒数が多い学校なのですが、たくさん出入り口があるおかげでぎゅうぎゅうに混むことも無くとてもスムーズに、近い入り口から入れるのがいいと思いました。

そして、一度火災が起こりそうな時、約 3000 人全員が外に素早く避難できました。そこも利点だと思います。

【カナダの多文化社会】

私はカナダに行ったら聞こえてくる言語は全て英語だと思っていましたが、実際には、本当にたくさんの言語が聞こえてきます。

特に私の ESL のクラスでは、アラビア語やウルドゥ語、スペイン語など初めて耳にする言葉を話す人がいて毎日色々な言語、又様々な文化に触れることができます。それらはとても刺激的です。ですが、私の友達はいいところだけでは無くカナダ独自の文化などが少ないと言っていて、いいところだけではないとも学びました。



【スクールスタイル】



私の学校では授業のスタートは 9 時半からで、1 コマ 75 分間です。4 コマあって 3 時半頃に 4 コマ目が終わります。カナダの学校にはクラスがありません。自由な分、自分のことは自分自身でどうにかしなくてはならなくて、日本のように先生が助けてくれるわけではないので何事も自己責任ということです。過程よりも結果を大事にする合理的な考え方だと感じました。

そして、授業の内容も大きく違って、私は drama という演劇やスペイン語、写真の授業を取っています。興味のあることに挑戦できることはとても素晴らしいと思いました。

私のパートナーはデザインの授業を取っていてその授業を通して将来はデザインの仕事をしたいそうです。自分の得意なことを見つけたりすることも大切にされていて、日本にも少し取り入れることができれば自分やりたいこと、得意なことを見つけやすくなるのではないかなと思います。

写真は drama の授業です。

7 函館中部高校 1 年生

★ 食文化 ～カナダの食べ物は洋食？～

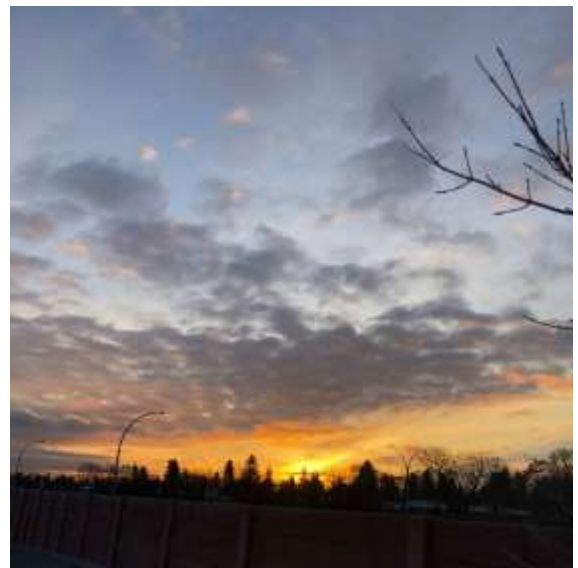
私がカナダに来て一番興味を持ったことは「食」についてです。北アメリカといって思いつくような高カロリーのファストフード等の食べ物はもちろんありますが、それも含めてカナダには様々な国の食文化が混合しています。近くのモールに行くとタイ料理店、インド料理店、ギリシャ料理店など各国の料理専門店が点在していたり、晩ご飯にドイツ料理や中華料理がでてきたりするのです。その中でも私が多くの人に好まれていると感じたのはナチョスです。ナチョスはアメリカ料理で、チップスに溶かしたチーズやハラペーニョ、オリーブがのっている一種のおつまみのようなものです。晩ご飯としてチキンと一緒にでてきたり、学校の調理実習で作ったりしました。少し塩気があるチップスとチーズが合っていて美味しかったです。



もちろん、「カナダといえば」というような食べ物もたくさん食べることができます。例えばピザ。私が通っている学校の先生が教えてくれたのですが、カナダで一番有名なものといえばメープル、しかし、一番人気があって多くの人に食べられているものといえばピザだそうです。実際に、私がホストファミリーと一緒にアイスホッケーの試合を見に行った時にピザがバケツ運びのようにして客席に回されていたり、学校の体育館に有名なピザ店の広告が張られていたりしました。

★ カナダの景色 ～日本よりも簡単に日の出、日の入りを見ることが出来る?!～

カナダの冬は太陽が出ている時間がとても短く、午後 5 時半頃になると外はほぼ真っ暗になります。(道路の写真の方が午後 4 時頃、もう一つの方が午前 8 時半頃) どちらも日の出、日の入りの様子です。



もちろん気温や天気によって変化はありますが、私が登下校するときはずっと、綺麗な朝焼け、夕焼けを見ることができます。友達の話だと、カナダの冬は四季の中で最も長く、毎年 9 月頃の初雪から始まり、4 月頃まで続くそうです。最低気温はマイナス 30 度を記録したことがあるとか…。

8 旭川北高校2年生

★ スキー場のリフトについていたバー



カナダにある全てのスキー場には日本と全く異なったものがあります。

リフトに乗ると落ちないためのバーを必ず下ろさなければいけません。そのバーを下ろさなければ、リフトが止まってしまいます。そしてリフトから降りる直前にバーを上にあげます。

ホストファミリーに聞いたところ、きっとそのバーがないのは日本だけで、ほとんどの全てのところに付いてると言われました。

★ バスに張り巡らされている紐

カナダのバスにはバス全体に黄色の紐が張り巡らされています。

日本にはボタンしかありませんが、カナダのバスにはボタンと紐があります。どこに座っていても引っ張れるのでとっても便利だと思います。日本のバスにもつけて欲しいと思いました。

ですが、ちょっとその紐に寄りかかったりして、引っ張ってしまうとバス停に止まってしまうので気をつけなければいけないなと思います



9 旭川北高校2年生

★ カナダと日本の違いについて

カナダにはスクールバスと公共のバスがあり、日本のように毎朝、人でパンパンなバスに乗る必要がなく、そして家の近くまでバスが来てくれるのでとても便利だと感じました。

そして近くにプールなどの大きな施設があるので気軽にいつでも運動ができるので、海外太りしないように頻繁に通っています(笑)

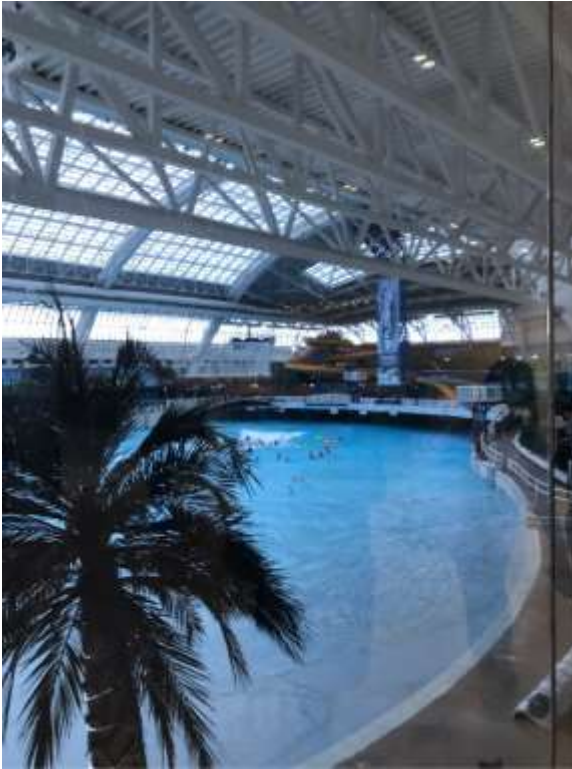


クリスマスは大きなイベントの一つなので1ヶ月前にもかかわらず2日かけて家の中と外を飾り付けしてクリスマスの音楽を聴きクリスマスの映画をたくさん見ました。中でも驚いたのは大人でもサンタを信じてお願い事を手紙に書いて祈っていたことです。今ではサンタが来るのが待ち遠しいです！



10 鹿追高校 2 年生

★ ウェストエドモントンモール



エドモントンには北米最大、世界で 10 番目に大きいショッピングモールがあります。

そこは 800 店以上のお店があり日本で人気のブランドがいくつも入っていて、1 日では周りきれないほどの大きさに驚きました。

さらにウォータースライダーや波のくるプールがあるウォーターパーク、いくつもの種類のジェットコースターやアトラクションが沢山あるギャラクシーランドの他にも室内のスケートリンク、ミニゴルフ場、シアターなどが中に入っており、何度来ても飽きないと思いました。

